

ビジネス成功へ
信頼できるパートナー

KCマーク認証

韓国市場へのパスポート

*SK Techはお客様のビジネスをグローバル市場
に展開するお手伝いをします*

2021

ISO/IEC 17025

認定試験所

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

KC認証とは?

KC認証は韓国において求められる製品安全管理システムです。産業通商資源部 (Ministry of Trade, Industry and Energy (South Korea)、MOTIE) が監督し、製品安全関連法規、施行令、規則を策定しています

現在、730種類以上の製品がKC認証によって規制されており、消費財、特に電気用品が主になっています

電気用品はKC認証の最重要製品カテゴリーであり、韓国の220V AC電源を使用するほとんどの電気用品は、電気用品および生活用品安全管理法に従ってKC認証を受ける必要があります。一般に、30V (AC) または 42V (DC) を超える電気用品には、通常、KC 認証が必要です



[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

KC – 電気安全

KCの電気用品の安全性認証は、火災、感電その他の危険や、電子機器の干渉による事故を防ぐために、韓国市場で販売される前にKCマーキングが必要とされる認証制度です。このスキームは次の3つのカテゴリに分類されます

1. 安全認証
2. 安全確認
3. 供給者適合性確認

KCの安全性に関する種類

安全認証	ユーザーに危険をもたらす可能性のある電気用品は、KC安全認証を取得する必要があります。この認証モードでは、認定ラボでのテストと工場審査が必要です。証明書の有効性を守るためには、定期的なフォローアップ検査と製品テストが必要です
安全確認	ユーザーにとって危険性が低い電気用品は、KC安全確認を行います。このスキームにおいては指定された認定テストラボでのテストと、当局への正式な登録が必要です。メーカーは工場審査を行う必要はありません。KC証明書は5年間有効です
供給者適合性確認	この認証モードは、ユーザーにとって危険でないものとして証明機関による分類が決定された電気用品にのみ適用されます。KC供給者適合性確認では、申請者自身のテスト結果またはサードパーティのテストラボのテスト結果を使用して、適合性を示すことができます。ただし、韓国の規格や試験方法に従って試験を実施する必要があります。正式な登録や審査は必要ありませんが、メーカーはラベル要件が満たされていることを確認する必要があります。

KC安全方式3種類の比較

項目		安全証明	安全確認	SDoC ※
製品テスト	安全試験	○	○	○
	EMCテスト	○	○	○
工場審査	生産・検査施設	○	適用されません	適用されません
	原材料検査および製造プロセス審査	○	適用されません	適用されません
	製品検査	○	適用されません	適用されません
認定 - 登録		認証取得	登録確認書	宣言
定期点検 (年間製品テスト+定期工場審査)		○	定期審査 無し	適用されません

※ SDoC (Supplier's Declaration of Conformity, 供給者適合宣言)

KC EMC/RF: RRA

電波法第58条2条にしたがい、放送通信機器適合性評価システムを実施しています。これは、次のカテゴリに分類されます

1. 適合認証
2. 適合登録
3. 暫定認証

放送機器および通信機器の製造、販売、輸入をする当事者は、これら3つの認証のいずれかを持っている必要があります

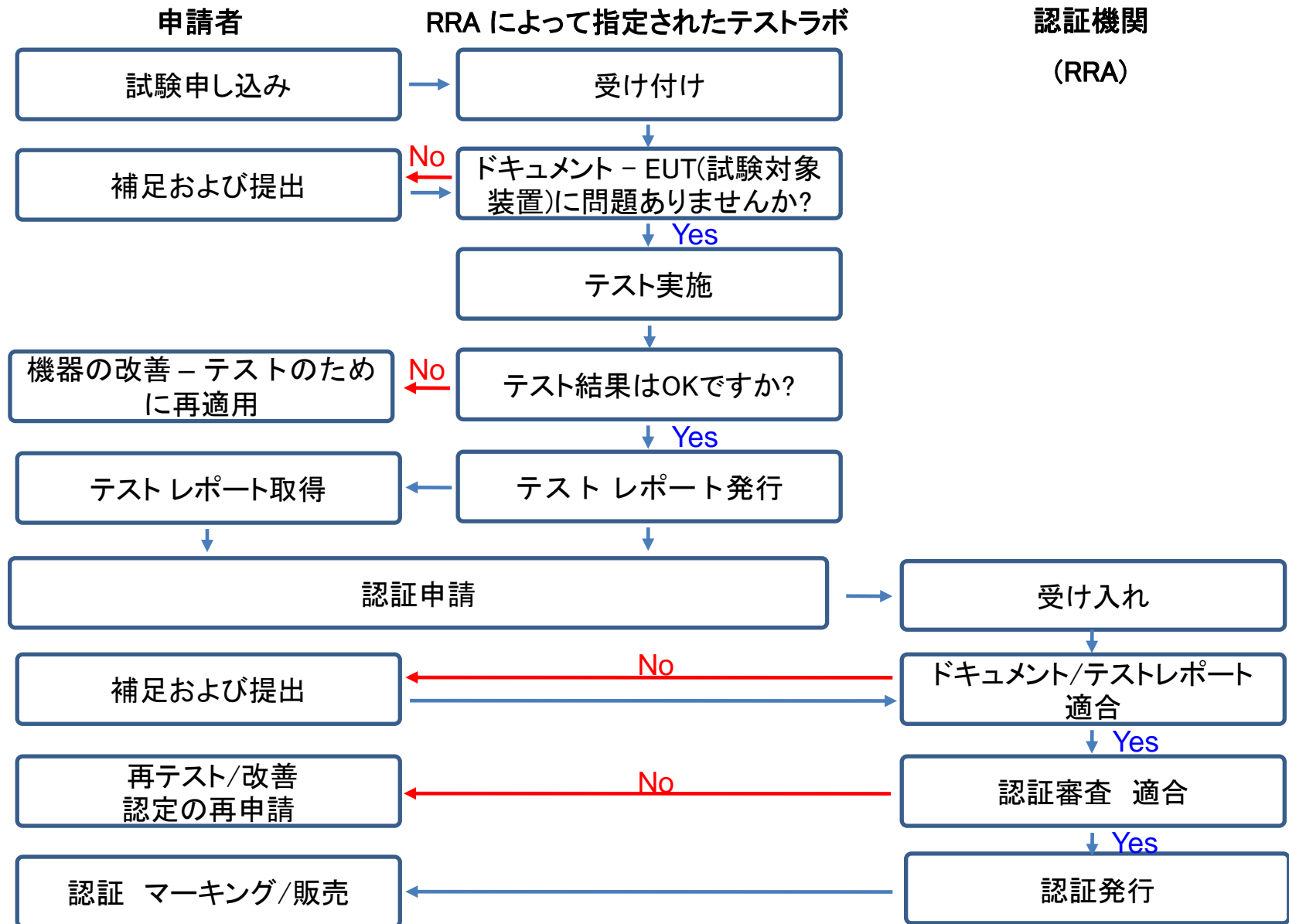
韓国国立電波研究院(RRA)は規制当局として、通信および無線通信の規制と韓国の無線周波スペクトルの管理をしています

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

KC EMC/RF の種類

<p>適合認証</p>	<p>無線環境、放送通信ネットワーク、および電波の影響を受ける通常の動作を持つ機器は、認証の対象となります</p>
<p>適合登録</p>	<p>適合の証明を受けていない放送・通信機器は、登録の対象となります</p>
<p>暫定認証 (検証)</p>	<p>放送・通信機器の適合性を評価する基準がない場合、または何らかの理由で適合性を評価することが困難な場合は、韓国または他の国の標準、仕様または技術基準を使用して適合性を評価し、その後、製造、販売、または輸入機器に地域、有効期間、および認証条件を添付することができます</p>

RRA 認定プロセス



対象製品と必要書類

件名	必要書類	認定対象機器の例
適合 認証	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザーズマニュアル 2. テストレポート(認定試験機関が発行もしくは相互認定国の試験機関) 3. 外観図 4. 部品配置図または写真 5. 回路図 6. 証明書 	ワイヤレス電話機、アラーム自動受信機、船舶用レーダー機器、電話機、モデムなど
適合 登録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適合性評価基準に適合することを証明する確認書 2. 代理人指定書 	コンピューティングデバイスと周辺機器、および放送セットトップボックス、測定機器、産業機器、コネクタなど
暫定 認証	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術マニュアル 2. 社内テストレポート 3. ユーザーズマニュアル 4. 外観図 5. 回路図 6. 部品配置図または写真 7. 代理人指定書 	新開発機器の適合性評価基準がまだ設けられていない

必要な書類/アイテム

必要な書類/アイテム	KC(RRA) 認証	KC(RRA) 登録	備考
サンプル	○	○	2 or 1ea
韓国語のユーザーマニュアル	○	○	
コンプライアンス確認書	○	○	RRA フォーム
代理人指定書	○	○	RRA フォーム
回路図	○	-	KC(RRA) 認証のみ
内部ボード写真 (F/Rサイド)	○	-	
アンテナ仕様	○	-	ワイヤレス製品の場合
テストプログラム(該当する場合)	○	該当する 場合	
RJ11 の KC(RRA) 証明書 モジュラジャックまたはプラグ	○		

KC認証をサポートするサービス

- ・試験 - SK Techは、KC認証のための韓国要件を満たす全てのテスト設備を備えた認定試験所です
- ・ドキュメント - お客様のドキュメントの必要範囲と内容を確認して、コンプライアンスを確保するために必要な変更について助言します
- ・規格 - 我々の技術者は、電子機器および電気機器に適用される世界中の規格について常に最新情報をアップデートしています
- ・その他要件 - 他の国際規制や規格と併せて、KC認証要件に準拠するサポートを提供します

認証と証明書

- RRA : EMC, RF, SAR, Telecom
- KEMKO: Energy efficiency & e-Standby
- KOLAS: Safety, Energy efficiency & EMC
- CBTL

認定と証明書

SKテックは、KOLAS リファレンスナンバーKT191によって認定されたISO/IEC 17025試験所です。韓国認定機関(KOLAS)は、適合性評価に関して認定を行う唯一の国家機関です

SK Techは、EMC、電気安全試験方法に関する200以上の国際規格に関し、すべてのKOLAS認定を受けています。その品質管理システムは、ISO/IEC 17025:2017の最新要件を満たすために数十年にわたって歩み続けてきました

SK Techは、韓国と米国の相互協定に基づき、通信および無線通信の規制と韓国の無線周波スペクトルの管理を担当する規制当局である国立電波研究院によって認められた適合性評価機関です

SK Techは、UL DemkoをNCB (CB制度における認証機関)とするCB試験研究所としてテストを実施し、次のカテゴリのCBテストレポートを発行します

- ・ EMC (電磁両立性)
- ・ ITAV (情報技術、オーディオビデオ)
- ・ OFF (ITおよびオフィス機器)
- ・ TRON (エレクトロニクス、エンターテイメント)

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

SK Techについて

私たちは誰であるか、私たちは何をすべきか

SK Techは、1990年に設立され、EMI/EMCテスト、RF&ワイヤレステスト、SARテスト、製品安全試験、コンサルティング業務など、幅広いテストサービスを提供しています

SK Techは、ILAC(国際試験所認定会議)に署名した韓国認定機関(KOLAS)に認定されている独立した適合性評価試験所です

SK Techは、ほとんどの電気用品や放送・通信機器の韓国認証マークを取得するためにその試験を実施してテストレポートを発行する認定試験所として、韓国の規制当局であるRRAより指定されています

SK Techは30年の経験を持ち、さまざまな業界のお客様にテストと認証サービスを着実に実施してきました。当社のエキスパートメンバーは、幅広いコンプライアンステストと認証サービスをお客様に提供し、電子および電気機器の世界市場へのアクセスを容易にします

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

沿革

SKテックの歴史は30年前に始まり、いまでも歩み続けています

- ・1990: 韓国トーキンEMCエンジニアリングとして設立
(三協EMCエンジニアリング、NECトーキンによる合併会社)
- ・1992: 3m/10m OATS (Open Area Test Site) 設置
- ・1996: 安全試験所を設立
- ・1997: NVLAP および DAR によってISO/IEC 17025 認定
- ・2000: SK Tech Co., Ltd に社名変更
- ・2003: KOLASの試験所として認定
- ・2005: EMI/EMS、無線/テレコム、電気安全試験の試験ラボとしてRRLによって指定
- ・2005: 韓国と米国の間でのMRAに従って、RRLによってCABとしてFCCに通知される。
- ・2008: 待機電力試験所として登録
- ・2009: CB試験所としてIECEE CBスキームに参加
- ・2010: VDEテストデータ受け入れプログラムに参加するテストラボとして認定
- ・2016: 10m 電磁波無反射室を設置

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

提供するテストサービス

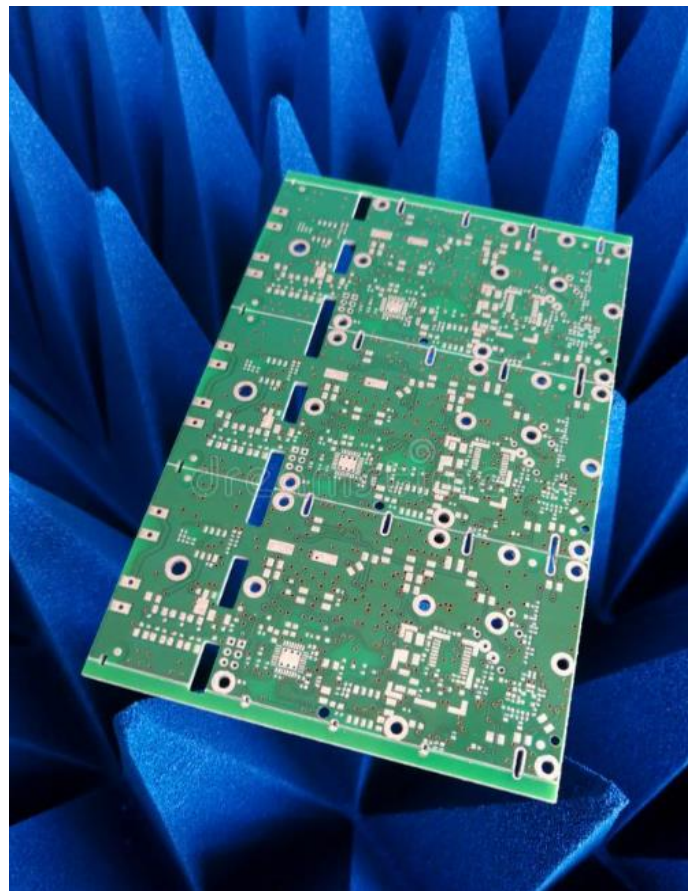
- エミッションテストサービス
- イミュニティテストサービス
- 無線周波数テストサービス
- 通信テストサービス
- SARテストサービス
- 電気安全試験サービス

EMCテスト

EMCとはなにか?

EMCは電磁界適合性を意味し、環境内で意図したとおりに動作する電子機器の性能です。つまり、製品が他の製品に干渉を引き起こさないように、そのノイズ(電磁放射)を制限する必要があります。また、性能の低下(EMCイミュニティ)を起こさずに他の製品の電磁エネルギーに耐えなければなりません

許容されるノイズ・レベルと必要な耐性レベルを定義するEMC規格は数多くあります。EMCがつねにわかりにくい理由は数多くあります。その理由のひとつは、ノイズのレベルと、そのレベルに影響を与えるパラメータが大きな範囲にわたって変化することです。もうひとつの理由は、電磁放射が放射ノイズと同じように発生することです。さらに、ノイズは伝導ノイズ、放射ノイズ、およびそのふたつの組み合わせによって遷移します

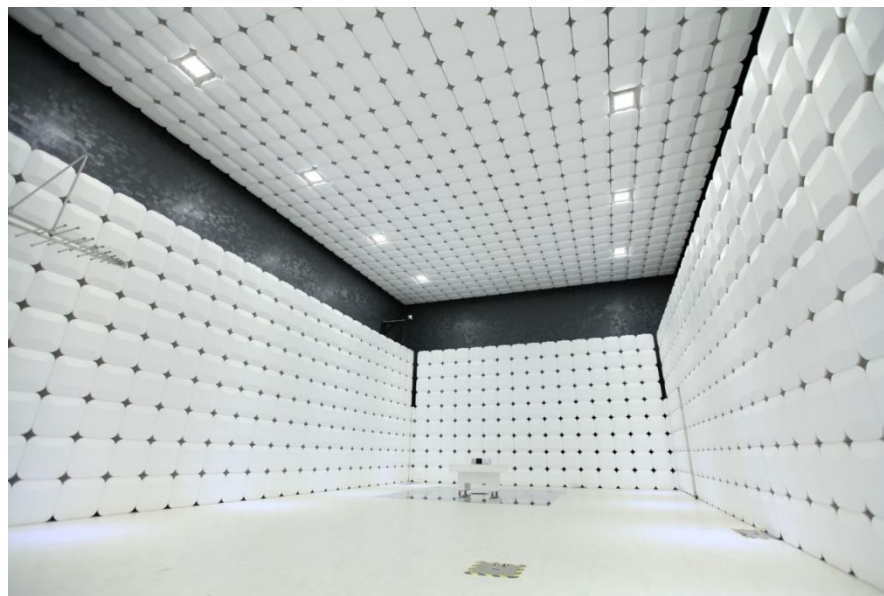


[SK Tech Co., Ltd.](http://www.sktech.co.kr)
[\(주\) 에스케이테크](http://www.sktech.co.kr)

EMCテスト

なぜEMCのテストが必要なのか

すべての電子機器は電磁界を放出し、相互接続または近接しているときに他のデバイスに影響を与えます。家の中を見回しても、テレビ、携帯電話、WiFiルーター、電力線、電子レンジ等が、EMC(電磁互換性)の面で適切に設計されていない場合、すべてが干渉またはお互いに干渉を受けている可能性があります



製造業者は、機器がそれぞれの市場当局によって設定されたEMC要件に準拠していることを保証する責任を負います。韓国では、KN EMC規格に準拠している必要があります。KN規格は、エミッション(他の機器に干渉しない)とイミュニティ(他の機器からの干渉に耐えられる)の両方について規制を設けています。米国でのFCCはエミッション制限のみ設けています

[SK Tech Co., Ltd.](http://www.sktech.co.kr)
(주) 에스케이테크

EMCテスト

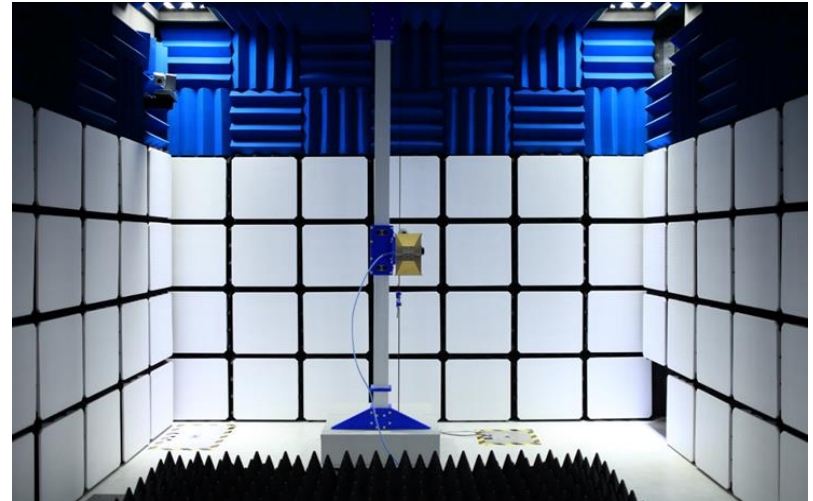
EMCテストは次の2つのカテゴリに分類されます

エミッションテスト

- ・ 放射エミッション
- ・ 伝導性エミッション
- ・ ハーモニックエミッション (高調波放射)
- ・ フリッカー

イミュニティテスト

- ・ 放射RFイミュニティ (RFI)
- ・ 伝導性無線周波数イミュニティ (CRFI)
- ・ 静電気(ESD)イミュニティ
- ・ 電氣的ファーストランジェント(高速過渡現象) / バースト(EFTB) イミュニティ
- ・ 雷サージイミュニティ (Surge)
- ・ 電圧ディップ(瞬停)、中断、短い変動 (VDI)に対するイミュニティ
- ・ 電力周波数磁界イミュニティ(Mag)



[SK Tech Co., Ltd.](http://www.sktech.co.kr)
(주) 에스케이테크

EMCテスト

提供可能なEMCテスト・サービス:

- ・製品開発と修正過程における完全準拠とその為の事前測定
- ・グローバル認定のためのEMCテスト
 - KC: 韓国
 - VCCI: 日本
 - CEマーキング: 欧州EMC指令2014/30/EUおよびEMC試験を必要とする他の欧州指令 (RED 2014/53 / EUおよび医療機器指令[MDD] 93/42/EECを含むがこれらに限定されない) に準拠するためのテスト
 - CBスキーム(IECEE): 世界市場へのアクセスにむけて
 - FCCパート15と18: 米国
 - SCCおよびISED(旧 Industry Cana): カナダ
 - AS/NZS: オーストラリア
 - Eマーキング

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

EMCテスト

以下の基準に従ってテストを行います

- ・ KN 11 / 14-1/2 / 15 / 61547 / 16 / 19 / 22 / 24 / 32 / 35
- ・ KN 61000-6-1 住宅, 商業及び軽工業環境におけるイミュニティ
- ・ KN 61000-6-2 工業環境におけるイミュニティ
- ・ KN 61000-6-3 住宅, 商業及び軽工業環境におけるエミッション
- ・ KN 61000-6-4 工業環境におけるエミッション
- ・ KN 62010-2 / KN 60947 / KN 60601-1/2 / KN 60974-10
- ・ KN 301 489-1/2/3/5/6/9/13/15/17/18/50/52
- ・ IEC/EN 61000-4-2 ESD
- ・ IEC/EN 61000-4-4 EFT/バースト
- ・ IEC/EN 61000-4-5 サージ
- ・ IEC/EN 61000-4-6 伝導性イミュニティ
- ・ IEC/EN 61000-4-8,-9 磁気イミュニティ
- ・ IEC/EN 61000-4-11 ACディップ (瞬停)
- ・ IEC/EN 61000-4-29 DCディップ (瞬停)

EMCテスト

以下の基準に従ってテストを行います

- IEC/EN 61000-6-1 住宅，商業及び軽工業環境におけるイミュニティ
- IEC/EN 61000-6-2 工業環境におけるイミュニティ
- IEC/EN 61000-6-3 住宅，商業及び軽工業環境におけるエミッション
- IEC/EN 61000-6-4 工業環境におけるエミッション
- IEC/EN 61326-1 測定と制御
- IEC/EN 61326-2-x 個別要求事項
- EN 55011 / 55016 / 55022 / 55024 / 55032 / 55035 / 61326-2-6 / 61326-2-2/3 / 50130-4
- CISPR 11 / 16 / 22 / 24 / 32 / 35
- EN 301 489-x for RED

無線周波数テスト

無線周波数テストとは?



無線機器および通信機器が無線周波数スペクトルの他のユーザーに干渉せずに無線スペクトルを効果的に使用していることを確認するためには無線周波数テストが必要です

無線周波数テストは、Wi-Fi、Zigbee、PMRラジオ、RFID、NFC、携帯電話などの技術をカバーしています。また、通常、デバイスが電磁適合性(EMC)、電気安全法、高周波(RF)曝露に関する現地の規制を満たしていることを確認するためには、他のテストも必要です

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

無線周波数テスト

RFテストが重要な理由

無線周波数コンプライアンスは、韓国、EU、米国、カナダ、日本を含むほとんどの国際市場において必須要件です。ワイヤレスデバイスを製造したり、製品にワイヤレスデバイスを組み込む場合は、対象市場の規制に準拠する必要があります

無線周波数テストは、手のかかるリワークを避け、世界市場に迅速にアクセスできるように事前に問題点を明確にします



[SK Tech Co., Ltd.](http://www.sktech.co.kr)
[\(주\) 에스케이테크](http://www.sktech.co.kr)

無線周波数テスト

一般的な無線周波数テストには、以下項目が含まれますがこれだけに限定されません

- ・送信機のテスト
- ・出力電力
- ・隣接チャンネル漏れ電力比
- ・パワースペクトル密度
- ・スペクトラムエミッションマスク(SEM)
- ・占有チャンネル帯域幅
- ・周波数安定性/誤差
- ・放射バンドエッジ
- ・デューティサイクル
- ・変調帯域幅
- ・帯域外またはスプリアスドメインでの送信機の不要なエミッション
- ・受信機テスト
- ・感度
- ・隣接チャンネル/周波数帯域選択
- ・受信機スプリアスエミッション
- ・受信機インターモジュレーション
- ・ブロッキング

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

無線周波数テスト

以下の基準に従ってテストを行います

- EN 300 220 SRD < 1 GHz
- EN 303 204 SRDネットワークベース
- EN 300 330 SRD < 30 MHz
- EN 300 328 WLAN、BT、SRD
- EN 300 440 1-40 GHz
- EN 301 893
- FCC Part 15 Subpart C
- RSS 210 issue 8

SK Tech Co., Ltd.
(주) 에스케이테크

SARテスト

SARテストとは?

無線周波数(RF)エネルギーへの過度の曝露は、人間の組織に損傷を与える可能性があります。これを防ぐために世界中の多くの国が、あらゆる種類の送信機からのRF曝露量を制限する基準を設けています

比吸収率(SAR)は、ユーザまたは周囲にいる人の身体がどの程度、無線伝送エネルギーを吸収するかを示す指標です。SARテストでは、デバイスが決められたRF曝露制限値を超えていないことを検証します。RF曝露に関する制限は市場によって異なります

RF曝露は、人の頭部や身体の電気的特性をシミュレートする”phantom”を用いて評価されます。”phantom”を貫通するRFエネルギーは、1キログラムの組織あたりのワット数で比吸収率(SAR)を測定できるよう正確に配置されたプローブによってモニタリングされます

韓国では、人体から20cm以内で使用される携帯用無線機器にSAR試験が必要です

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

SARテスト

SAR に影響を与える可能性あるパラメータには以下のものがあります

- ・無線サービスの種類 (携帯電話、PCS、LMR、WLANなど)
- ・変調 (modulation)の種類 (CDMA、TDMA、GMSKなど)
- ・人体への物理的位置 (耳につける、顔や頭につける、ベルト留め、膝上での使用など)
- ・RF 電力レベル (Watts または mW)
- ・送信機、アンテナ(筐体外部 / 内蔵)または付属品(クリップ、電池など)の変更

SARテスト

SARテストガイドライン

ほとんどの国や地域では、通信機器に適用されるSARレベルを含むRF曝露基準と規制を公表しています。メーカーは機器の認証プロセスの一環として、ほとんどの国でデバイスがこれらの曝露制限に準拠していることを確認する必要があります。それぞれの国/地域でこれらの規制を満たしていないと市場アクセスが制限されます

国 / エリア	SAR制限	SAR規制
Korea	1.6 W/Kg_1gram	必須
USA & Canada	1.6 w/Kg_1gram (推奨)	必須
EU	2.0 W/Kg_10gram (推奨)	必須
Australia	2.0 W/Kg_10gram (推奨)	必須
Japan	2.0 W/Kg_10gram (推奨)	必須

SARテスト

DASY6 によるSARテスト機能

経験豊富なエンジニアによるSARチームは、頭、胴体、手首、手などの様々な身体部分の様々な”phantom”(テスト用にシミュレートされた人体模型)を使用して、デバイス上で特定の吸収率(SAR)測定を行います。

通信リンクを確立するために必要な無線サポート機器と組み合わせることで、4G(LTE), 5G(NR), Sub-6(6GHzに近い周波数帯)およびmmW(ミリ波帯)だけでなく、U-NII(2.4, 5, 6GHz)、UWB、WPTなど多くの技術を含むワイヤレスデバイスのフルレンジについてテストすることができます



※DASYシステムは世界で標準となっているフルコンプライアンスSAR測定システムです

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

SARテスト

KS C 3370-1 および 3370-2 にしたがって以下の技術と製品をテスト できます

RF曝露を制限するKC規制に準拠するのを支援するため、当社は許可無しで使用する無線機器、または許可を受けて使用する無線機器に対して包括的な比吸収率(SAR)テストを提供します。

- ・ 5G NRモバイルデバイス(3.5GHz)
- ・ LTE 携帯電話
- ・ IMT モバイル デバイス
- ・ MCA モバイル デバイス
- ・ パーソナルモバイル デバイス
- ・ 2.4/5GHz 無線 LAN デバイス
- ・ 900MHz 帯域を使用する RFID/USN ワイヤレス デバイス
- ・ 1.7/2.4GHz コードレス電話

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

通信テスト

SKテックはRRA指定試験機関であり、認定された通信テストを15年にわたり実施してきました

当社の業務範囲には以下の製品を現地の要件に合わせてテストすることも含まれます

- ・ PSTN デジタル製品
- ・ ADSL および VDSL モデム
- ・ IPカメラ

また、以下の各国固有の基準に対するテストも実施しています

- ・ 米国FCCパート68: ターミナル端末、ファクシミリ機能付き多機能プリンター
- ・ EU TBR 21: ターミナル端末, ファクシミリ機能付き多機能プリンター
- ・ EU TBR 38: 多機能プリンター
- ・ カナダ IC CS-03: ターミナル端末, ファクシミリ機能付き多機能プリンター

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

安全性試験

なぜ安全性についてテストするのですか？

安全性はすべての電気用品に対するKC認証の重要なパートです。韓国では消費者にとって安全であるよう、製品に対して実施しなければならないテスト基準を定めています

出荷前に製品の安全性試験を行う必要がある主な理由は次の 4 つがあげられます

1. 安全性 : 製品がエンドユーザーに危険を及ぼすことがないようにします
2. 品質 : 生産開始前に考えられる欠陥を特定し、製品投入前に欠陥を回避
3. コスト管理 : 製品出荷前に製造上の問題を検出することで、製品リコールコストを回避
4. 責任 : 製品欠陥による死亡および負傷によって生じる紛争防止

安全性試験

安全性試験で実施されるテストは何ですか？

安全性試験の目的は、感電、電気による火災、有害物質による傷害、機械的に引き起こされた傷害、熱的に引き起こされた傷害および消費者への放射線による傷害リスクを検出することです



[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

安全性試験

当社主要製品カテゴリと標準は以下のとおりです

- ・ 情報技術機器(IEC/EN/UL/CSA/K 60950-1)
- ・ オーディオおよびビデオ機器(IEC/EN/UL 62368-1)
- ・ 検査および試験装置(IEC/EN/UL/CSA 61010-1)
- ・ 照明・娯楽機器(IEC/EN 60598)
- ・ 医療機器(IEC/EN/UL 60601-1)
- ・ 産業用制御装置(IEC/EN 61131、UL 508.)
- ・ コンシューマーおよび家庭用アプライアンス(IEC/EN/UL 60335-1)

これらの市場分野やその他分野でお客様により良いサービスを提供するため、当社は全国の製品安全試験ラボとのネットワークを確立しています。あなたのプロジェクトについて詳細に議論させて頂きたく弊社エキスパートメンバーにぜひご連絡ください

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

安全性試験

安全要件を満たすお手伝いをします

SK Techは、IEC/EN 62368-1、IEC/EN 62368-3による音声・映像機器、情報通信機器、IEC/EN 61010-1による電気試験機器、測定機器、産業プロセス制御装置、実験装置に対する安全性試験を提供しています

IEC/EN 62368-1 は、携帯電話、PC、タブレット、IOT デバイス、オーディオ プレーヤーなど、幅広い製品をカバーしています。62368-1の基本的な概念は、正常、異常、および単一故障の動作条件で発生する可能性のあるハザード要因とこれらハザードから保護するために適用されるセーフガードなどを特定して区分することです

IEC 62368-3 は、通信ケーブルまたはポートを介して動作電力を供給および受信することを目的とした機器に適用されます。1 つの例として、パワーオーバーイーサネット (PoE) があります。PoE を使用すると、ワイヤレス アクセス ポイント (WAP)、インターネット プロトコル (IP) カメラ、ボイス オーバーインターネットプロトコル (VoIP) 電話などのデバイスに、データ接続と電力の両方を提供できます

テストに加えて、特定の国際要件を決定するのに役立つサポートサービスも全てご提供出来ます

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

設備

試験施設内には最新機器とともにカスタムビルドの実験室と電磁波無反射室があり、最も厳しい最新基準を満たしています。

EMC設備は以下の構成です

- ・ 10m EMCチャンバー (21.3m x 12.5m x 9.0m)
直径3m、2tのターンテーブル、4mアンテナマスト付属
- ・ 5m EMCチャンバー (13.7m x 11.0m x 9.0m)
直径1.5m、0.5tのターンテーブル、4mアンテナマスト付属
- ・ RFスクリーニングルーム
伝導エミッションおよび伝導RFイミュニティテストを実行するテスト機器を備えています
- ・ 電気的高速過渡バースト、低速・高エネルギーサージ、静電放電、電圧ディップと変動、高調波とフリッカーテストを実行する専用のテストルームと機器

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

施設 - 10m EMCチャンバー

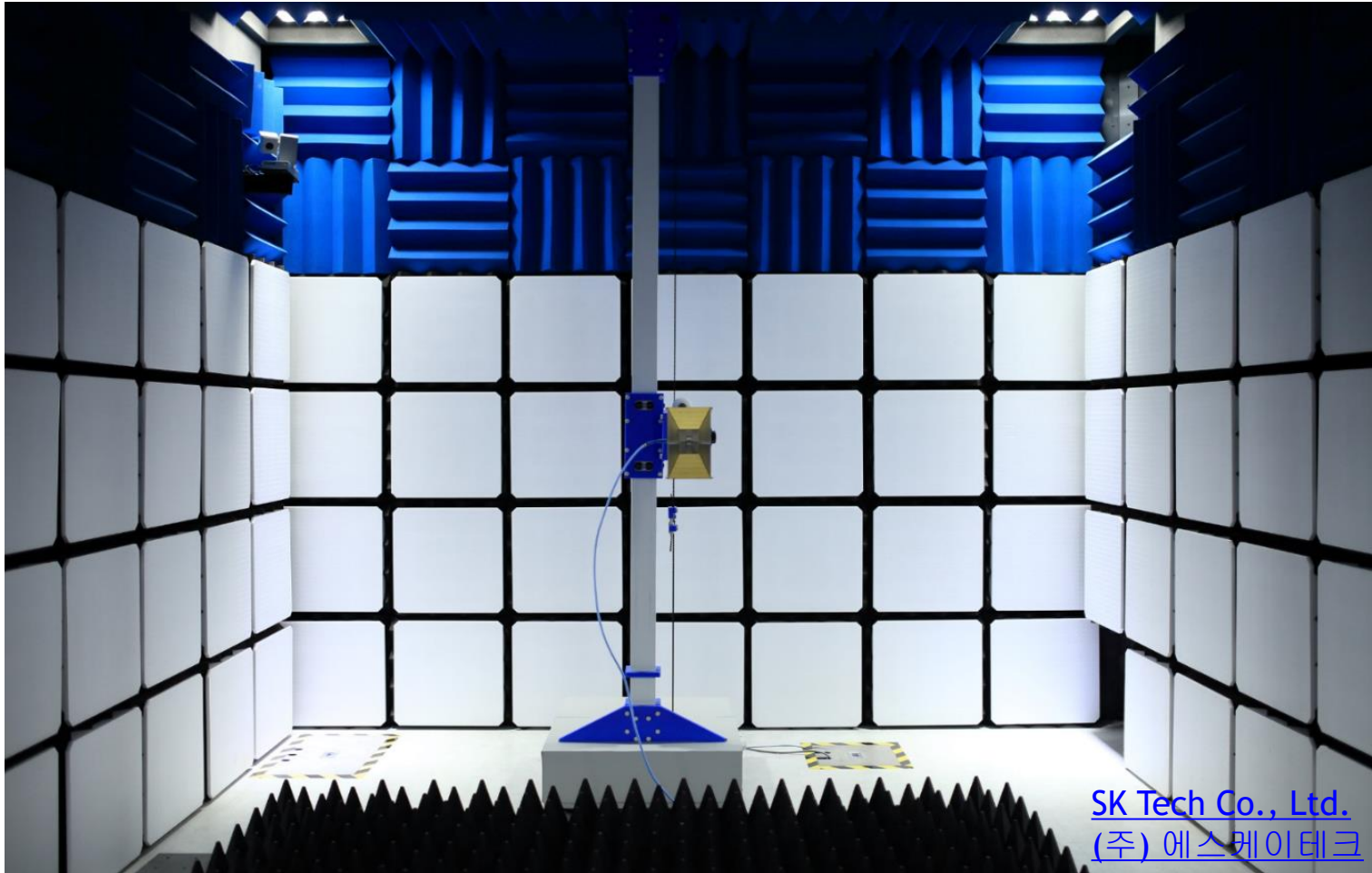


施設 - 5m EMCチャンバー



SK Tech Co., Ltd.
(주) 에스케이테크

施設 - 3m EMCチャンバー



設備 - 無線&テレコムテスト



[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

施設 - 無線&テレコムテスト



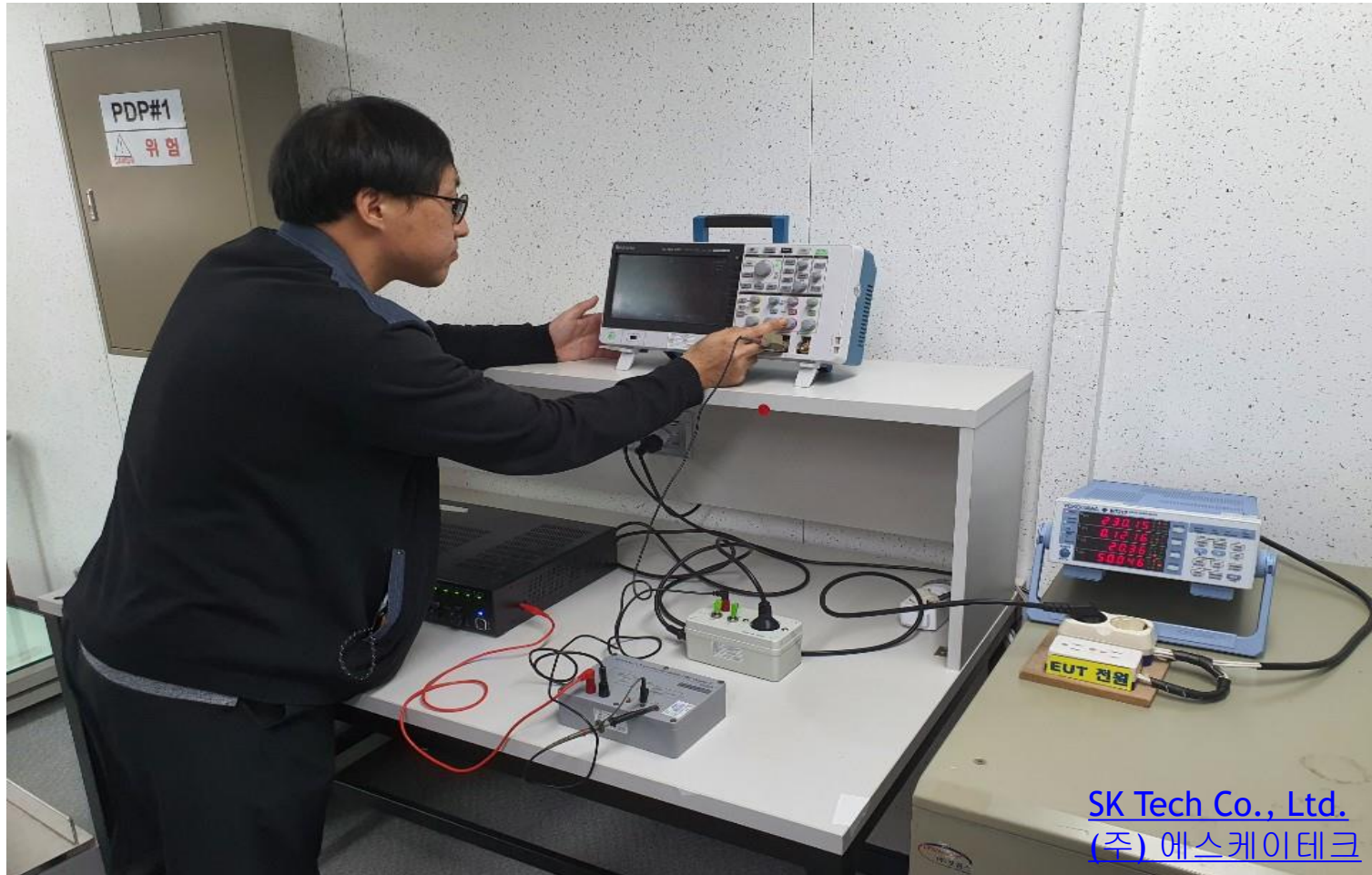
[SK Tech Co., Ltd.](#)
(주) 에스케이테크

設備 - SAR DASY6 システム



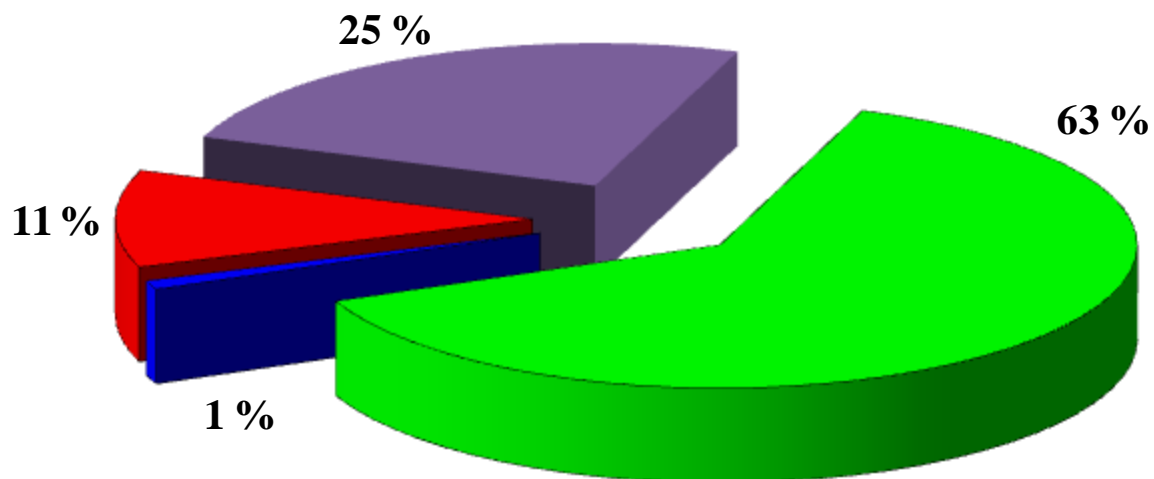
[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

設備 - 電気安全試験



SK-Tech テスト分野別 割合

As of 31 September 2020



■ EMC

■ R&TTE

■ Safety

■ SAR

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

主要顧客



ご連絡窓口（国内） 三協貿易株式会社

ソリューションのテストに関するヘルプが必要ですか？

私たちエキスパートにぜひお問い合わせください！

テスト要件に関する詳細とご質問につきましては以下にお問い合わせください。



Address:

〒103-0003

東京都中央区日本橋横山町7-17 オフィス日本橋 8F



Tel: 03-3663-3757



Email: info@mailing.sankyo-t.com

営業時間:

- Full Day: 9:00 – 18:00
- Morning: 9:00 -12:00
- Afternoon: 13:00 - 18:00

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

ご連絡窓口(韓国) SK-Tech

ソリューションのテストに関するヘルプが必要ですか?

私たちエキスパートにぜひお問い合わせください!

テスト要件に関する詳細とご質問につきましては以下にお問い合わせください。



Address:

88, Geulgaeul-ro 81beon-gil, Wabu-eup, Namyangju-si, Gyeonggi-do, 12203,
Korea



Tel: +82 31 576 2204



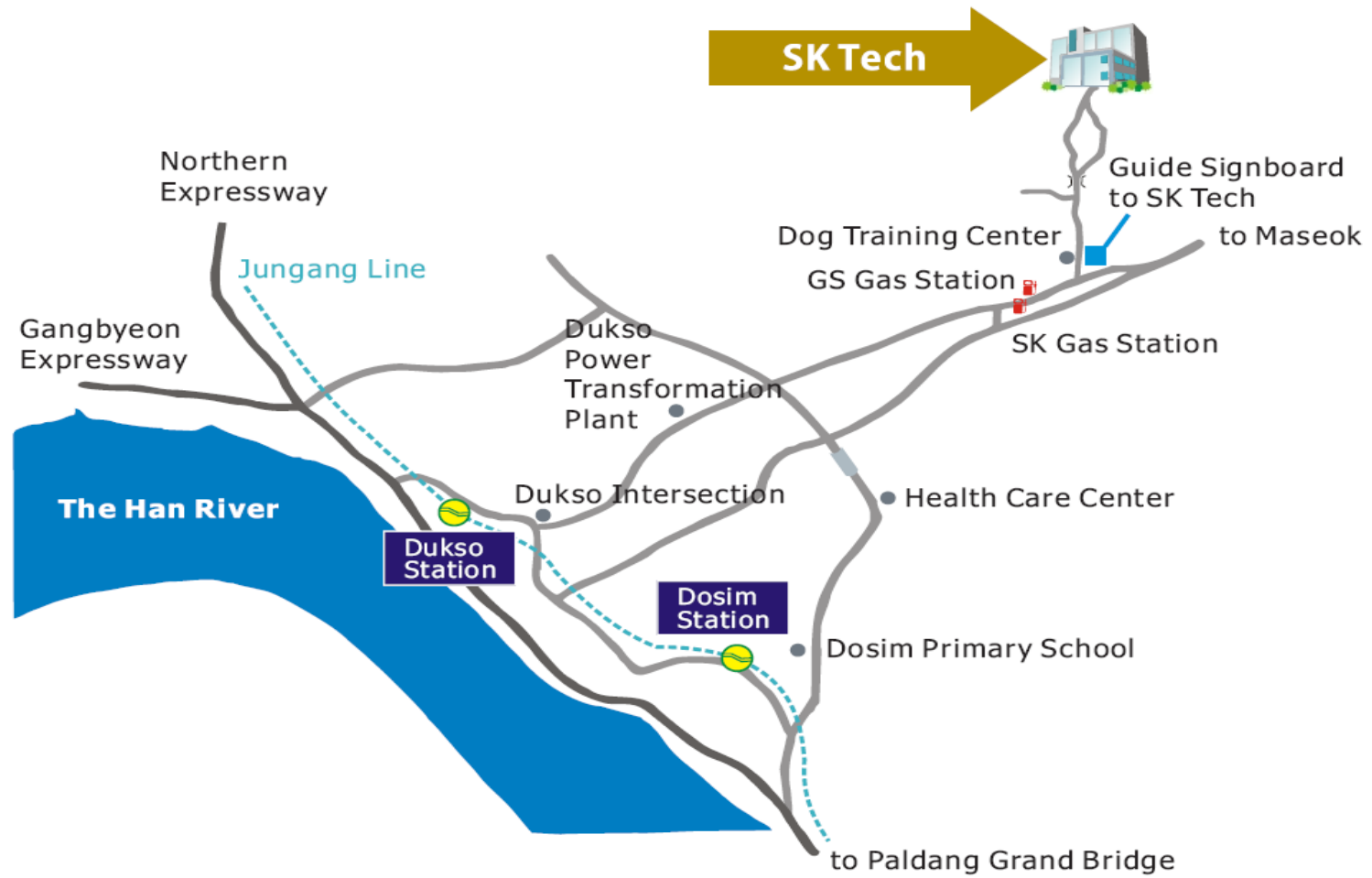
Email: songj@skemc.co.kr

試験所 営業時間:

- Full Day: 9:00 – 18:00
- Morning: 09:00 -12:00
- Afternoon: 13:00 - 18:00

[SK Tech Co., Ltd.](#)
[\(주\) 에스케이테크](#)

地图



[SK Tech Co., Ltd.](http://www.sktech.com)
[\(주\) 에스케이테크](http://www.sktech.com)

Thank you for your time.

SK Tech Co., Ltd.
(주) 에스케이테크